

IFCデータを直接出力

ネットイーグル

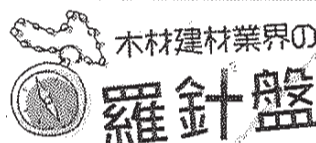
BIMとの相互連携が可能に

ネットイーグル(福岡市、祖父江久好社長)は、同社のCADとBIMソフトとのデータ連携を可能にする「IFCデータ出力システム」を開発した。従来、オートデスクのBIMソフト「Revit(レビット)」とは中間ファイルを介してデータ連動していたが、BIMの標準フォーマットであるIFCデータを直接出力できるようにしたこと、様々なBIMソフトとデータ連携できるようになる。非住宅中大型木造建築向けプレカットCAD「XF15」のオプションとして7月に発売し、10月以降、住宅向けの「XStar」、2×4工法向けの「XF24」にも搭載していく。

BIMは、意匠、構造、設備などのデータを集約して3次元情報で一括管理する仕組み。建設業界ではRC造やS造で主に活用され、木造建築でも非住宅・中大型建築を中心に、活用に向けた取り組みが広がりつつあり、非住宅のみならず住宅でもBIMの普及が見込まれている。同社はかねて、プレカットCADもBIM連携が必要になると判断し、対応を進めてきた。22年3月には同社CADで作成したデータをレビットで読み込むためのインターフェ



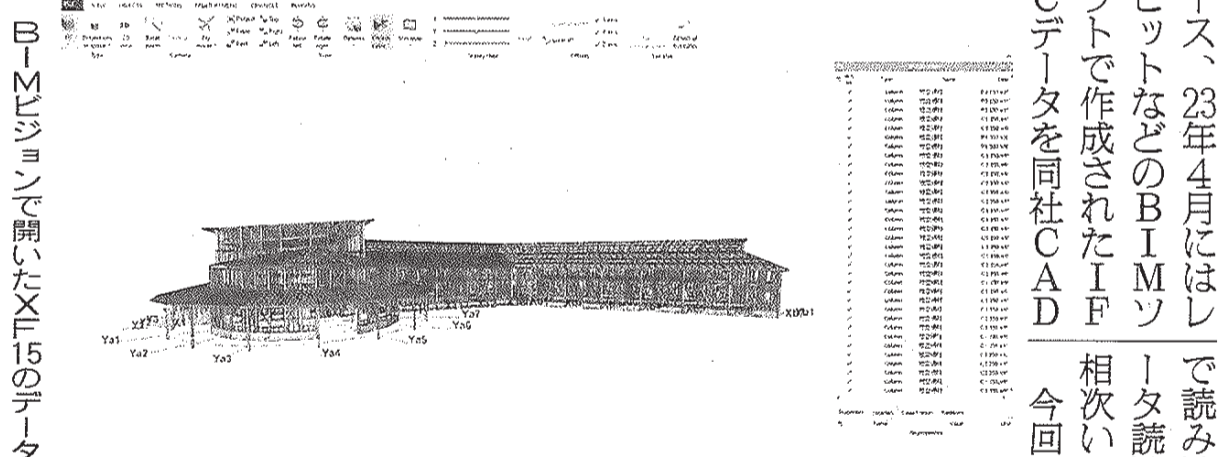
発行所 日刊木材新聞社
〒135-0041 東京都江東区冬木23-4
編集・営業 ☎03-3820-3500
FAX03-3820-3519
総務・販売 ☎03-3820-3511
FAX03-3820-3518
https://jfpj.jp/
eメール info@jfpj.co.jp
購読料 1ヵ月 6,750円
©日刊木材新聞社 2024
本紙の無断複製(コピー・PDF)配布は、著作権の侵害にあたり違法です。



木材建材業界の
Japan Lumber Reports
電子版

日刊木材新聞社 支社・支局

- 大阪支社 ☎06-6534-4300 Fax06-6534-4331
- 中部支社 ☎052-251-2025 Fax052-241-1160
- 中国支社 ☎082-231-2285 Fax082-293-9788
- 九州支局 ☎096-352-1856 Fax096-322-6005
- 東北支局 ☎022-239-4430 Fax022-231-3474



「XF15」のデータを読み込む「IFCデータ読み込みシステム」を相次いで開発した。今回、IFCデータ出力システムを開発したことで、レビットのほか、BIM Visi Mon(BIMビジョン)、ArchicAD(アーキCAD)、Vector Work s(ベクタワークス)、Teclast(テラス)、Tructure(ストラクチャー)など、23年4月にはレビットなどのBIMソフトで作成されたIFCデータを同社CAD

主な記事

- ▽2面 国土交通省 住宅トップランナー基準見直し検討
- ▽3面 NZ・チリ材商況 値上げは7月以降
- ▽4～5面 東海版 あいち木づかい表彰
- ▽6面 我が社の新機軸 クリナップ
- ▽7面 丸美産業・ウッドフェア2024 カスタムカットの良材群好調

(テクラストラクチャー)、AutocAD 3D(オートCAD3D)など様々なBIMソフトとのデータ交換が可能になる。具体的には、同社CADのIFC出力コマンドで構造、合板、加工などの出力要素を選択して実行すると、同社CADから読み込んだデータをBIMソフトで表現し、必要な部材属性に変換してプレカット加工できる。「データ出力でどこまでのデータが必要なのかは今後、ユーザーの求めに応じて探っていく。まずはBIMに開けたことをアピールしたい」(同社)。